

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			事業開始年度		平成17年度		根拠法令・例規等		備前市体育施設設置条例・備前市都市公園条例			
総合計画	大項目	基本目標	03	地域文化と人が輝くまちづくり		問	担当課(室)	教育委員会 一ツ振興室				
	中項目	基本施策	02	生きがいのあるまちづくり				合	職・氏名	室長補佐 山本香代子		
	小項目	施策	06	スポーツ・レクリエーション						先	電話	63-3813
事務事業名		04	体育施設管理運営事業		このシート作成に要した時間		1.0 時間					

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	個人・団体でスポーツ活動を目的とした者
目的(何のために)	指定管理者制度の導入により、民間活力を活用し、サービスの向上と維持管理に努め、市民の快適なスポーツ環境を提供する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	各施設の環境を整え、施設利用者が快適に気軽にスポーツ活動が行えるようにする。

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
総合運動公園管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民のスポーツ環境を整える。		
伊部運動公園管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民のスポーツ環境を整える。		
三石運動公園管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民のスポーツ環境を整える。		
日生運動公園管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民のスポーツ環境を整える。		
浜山運動公園管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民のスポーツ環境を整える。		
日生武道場管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民のスポーツ環境を整える。		
吉永B & G海洋センター・テニスコート管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民のスポーツ環境を整える。		
神根農村広場等管理運営事業	地域住民が気軽に使用できるよう管理をする。		
ヘルスバ日生管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民の健康づくりとスポーツ環境を整える。		

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	142,842	121,602	133,444
	必要人員(人件費)	千円	1.88人 16,625	1.87人 16,714	0.17人 1,583
事業費	事業費計		159,467	138,316	135,027
	国県支出金				
	受益者負担		152	1,034	
	繰入金	千円			
	その他()				
一般財源		159,315	137,282	135,027	
受益者負担比率	%	0.1%	0.7%	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	体育施設利用者	説明	市内の体育施設の利用者数		
	結果指標量	人	382,873	381,103	357,635
	対前年比	%	-	99.5%	93.8%
活動コスト	円				
単位当たりコスト	円		0	0	0

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
体育施設利用者	目標値(A)	500,000	510,000	510,000	460,000
	実績値(B)	382,873	381,103	357,635	到達目標値
	達成率(B/A)	76.57%	74.73%	70.12%	460,000
成果指標設定の考え方・式や説明					
市内の体育施設の利用者数(年間利用延人数)					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> B
有効性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A-E> B
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	殆どの施設が、指定管理者制度導入により、コスト削減ができたが、吉永B & G海洋センターが指定管理者制度を導入したことにより経費が上がったため、様子をみて再検討する必要がある。ヘルスバ日生は本来健康づくり施設であるため、平成22年度より保健課に所管移動した。					

総合評価	
殆どの施設が、指定管理者制度導入により、コスト削減ができたが、吉永B & G海洋センターが指定管理者制度を導入した21年度は財政の持ち出しが大幅に増えた。	評価区分 <A-E> B

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	管理体制の見直しをし、経費削減と利用者の利便性を考えた管理・運営に努める必要がある。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
事業の目的やその効性の値目標を行っている成果指標